



行政

『地下水保全普及啓発活動』

～地下水3D模型展示～

地下水の保全対策

温泉を含めた地下水保全対策の検討や研究を進める。

箱根の自然を知る

箱根の自然環境や生態系について関心を持ち、環境保全に努める。

SDGs の推進・発信

町全体で SDGs を発信できるように、率先して行動するほか、町内での取り組みを発信していく。

箱根町の地下水は限られた資源であり、大量に採取し続ければ、地下水位の低下や湧水の減少、さらには温泉の枯渇といった事態に陥る可能性が危惧されています。

持続可能なまちづくりのためにも、地下水について理解してもらうことが重要な課題となっています。

そこで箱根町では、地下水のモニタリング調査を委託している事業者と、10/19、20 に星槎箱根キャンパスで開催された『星槎箱根フェスティバル 2024』にて、地下水の仕組みについて視覚的に学ぶことができる3D模型を展示し、多くの人に理解を深めてもらいました。



雨水が地面にしみこんで地下水となり、さらに長い時間を要して地下の深い層で温泉になります。一度温泉が枯渇してしまったら、再び温泉が出るまで何年、何か月と時間がかかってしまうということを、3D模型をみて学ぶ子供たち。



3D模型展示の他にも、ミネラルウォーターの飲み比べブースも設置しました、ここでは水の『硬度』の違いでどう味が変わるのかを体験してもらいました。

普段自分が飲んでいる水が軟水なのか硬水なのか、どちらが好みかなど、多くの人に楽しんでもらいました。

